

ヤギでエコ除草 新たなイノシシ対策始まる！



里の美しさを、未来へ、世界へ。



荒れた農地などで、ヤギを使って除草し、イノシシ対策などに活用しようと熊本県天草市で「ヤギ・エコプロジェクト」が始まった。本渡町・茂木根地区で今週、ヤギ3頭が初めて、畑に放牧された。

天草では高齢化により、農地の耕作放棄地やそれに近い田畑が急増し、草がはびこる状態があちこちで見られる。そして、イノシシなど有害な鳥獣の隠れ家になり、里に下りてきては、農作物を食い荒らす被害も年々増加。さらに困ったことには子どもたちの通学路まで出現し、住民に大きな不安を与えている。

農家の担い手不足は即、田畑が草ぼうぼうの状態に変化する。しかも農作業の中でも重労働の一つが草払いだ。そこで、プロジェクトではこの問題を解決する方法の一つとして、人手に変わり、ヤギによる除草に着目した。

飼育に手間もかからず、しかも除草の効果は抜群。ヤギのおかげで手間が省けて大助かり。飼育の手間もほとんどかからない。荒れた草地をなくすと、警戒心の強いイノシシは身を隠す場所が無くなり、寄りつきにくくなるという。

ヤギの導入によって期待される効果として、以下の点がある。

- (1) ヤギによる除草作業の軽減
- (2) 草払い機のようにオイルも使わず、除草剤の薬害もなく、環境保全につながる、エコ仕様。
- (3) ヤギが草を食べている仕草は、子どもたちの情操教育にも一役買う。
- (4) 地域住民の連携や、絆を深めることが期待され、活性化につながる。

まず、試験的に、天草市本渡・茂木根と同杵宇土から実施を予定。「ヤギステーション」(小屋)を建設し、当初、3頭のヤギから飼育を始める。そこから除草したい場所へ運び、ヤギに草を食べてもらう。要望があれば当該地区以外にもヤギのデリバリーも行う予定。

さらに地域全体として取り組み、地域の絆を深め、地域の活性化につなげて行く。

今年5月、県の補助事業「里モンプロジェクト」に採択された。今後、濃厚な味として知られるヤギの乳も搾り、県立苓明高校などにも協力を仰ぎ商品開発も手掛け、新たなコミュニティビジネスを創造する。

問い合わせ：「天草デザインプロジェクト」
(天草テレビ内=金子寛昭プロジェクトリーダーまで)
TEL 0969-22-2350 ケータイ 080-3901-1018
メール info@amakusa.tv